



ボリューム Snapshot API メソッド

Element Software

NetApp
November 19, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/element-software-125/api/concept_element_api_snapshots_overview.html on November 19, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ボリューム Snapshot API メソッド	1
詳細情報	1
Snapshotの概要	1
詳細情報	2
CreateGroupSnapshot を作成します	2
パラメータ	2
戻り値	5
要求例	5
応答例	6
新規導入バージョン	7
スケジュールの作成	7
パラメータ	8
戻り値	13
要求例 1	14
応答例 1	15
要求例 2	16
応答例 2	16
要求例 3	17
応答例 3	18
新規導入バージョン	19
CreateSnapshot の更新	19
パラメータ	20
戻り値	23
要求例	23
応答例	24
例外	24
新規導入バージョン	25
DeleteGroupSnapshot	25
パラメータ	25
戻り値	25
要求例	25
応答例	26
新規導入バージョン	26
Snapshot を削除します	26
パラメータ	26
戻り値	27
要求例	27
応答例	27
新規導入バージョン	27

詳細情報	28
GetSchedule	28
パラメータ	28
戻り値	28
要求例	28
応答例	28
新規導入バージョン	29
ListGroupSnapshots を参照してください	29
パラメータ	29
戻り値	30
要求例	30
応答例	30
新規導入バージョン	32
ListSchedules (リストスケジュール)	32
パラメータ	32
戻り値	32
要求例	32
応答例	32
新規導入バージョン	34
Listsnapshots を使用します	34
パラメータ	34
戻り値	34
要求例	35
応答例	35
新規導入バージョン	36
ModifyGroupSnapshot の追加	36
パラメータ	36
戻り値	38
要求例	38
応答例	38
新規導入バージョン	39
ModifySchedule の追加	39
パラメータ	40
戻り値	43
要求例	43
応答例	44
新規導入バージョン	45
ModifySnapshot の追加	45
パラメータ	46
戻り値	48
要求例	48

応答例	48
新規導入バージョン	49
RollbackToGroupSnapshot	49
パラメータ	49
戻り値	50
要求例	51
応答例	52
新規導入バージョン	53
RollbackToSnapshot	54
パラメータ	54
戻り値	55
要求例	55
応答例	56
新規導入バージョン	56

ボリューム Snapshot API メソッド

Element ソフトウェアのボリューム Snapshot API メソッドを使用すると、ボリューム Snapshot を管理できます。ボリューム Snapshot API メソッドを使用して、ボリューム Snapshot を作成、変更、クローニング、および削除できます。

- [Snapshot の概要](#)
- [CreateGroupSnapshot を作成します](#)
- [スケジュールの作成](#)
- [CreateSnapshot の更新](#)
- [DeleteGroupSnapshot](#)
- [Snapshot を削除します](#)
- [GetSchedule](#)
- [ListGroupSnapshots を参照してください](#)
- [ListSchedules \(リストスケジュール\)](#)
- [Listsnapshots を使用します](#)
- [ModifyGroupSnapshot の追加](#)
- [ModifySchedule の追加](#)
- [ModifySnapshot の追加](#)
- [RollbackToGroupSnapshot](#)
- [RollbackToSnapshot](#)

詳細情報

- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"](#)

Snapshot の概要

ボリューム Snapshot は、ボリュームのポイントインタイムコピーです。Snapshot を使用して、Snapshot が作成された時点の状態にボリュームをロールバックできます。

ボリューム Snapshot をグループ化することで、関連するボリュームを整合性のある方法でバックアップまたはロールバックできます。グループ Snapshot は、すべてのボリュームスライスファイルの任意の時点のイメージをキャプチャします。そのイメージを使用してボリュームのグループを任意の時点の状態にロールバックし、グループ内のすべてのボリュームのすべてのデータの整合性を確保できます。

定義した間隔で自動的にボリューム Snapshot が作成されるようにスケジュールを設定できます。間隔は、時間、曜日、または日にちで定義できます。スケジュールされた Snapshot を使用して、アーカイブ用にリモートストレージに Snapshot をバックアップすることもできます。

詳細情報

- "SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"
- "以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"

CreateGroupSnapshot を作成します

を使用すると、ボリュームグループのポイントインタイムコピーを作成できます CreateGroupSnapshot。

この Snapshot をあとでバックアップまたはロールバックとして使用すると、 Snapshot を作成した時点でのボリュームグループのデータの整合性を確保できます。

- cluster_Full*



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、 Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
attributes	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON (オブジェクト)	なし	いいえ
enableRemoteReplication	Snapshot をリモートストレージにレプリケートするかどうかを指定します。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true : Snapshotがリモートストレージにレプリケートされます。• false : Snapshotはリモートストレージにレプリケートされません。	ブーリアン	正しくない	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
ensureSerialCreation	<p>以前の Snapshot レプリケーションが実行中の場合に Snapshot を作成しないように指定します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>true</code> : これにより、一度にレプリケートされるSnapshotが1つだけになります。以前の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合、新しい Snapshot の作成は失敗します。 • <code>false</code> : デフォルト。別の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合は、この Snapshot を作成できます。 	ブーリアン	<code>false</code>	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
expirationTime	<p>Snapshot を削除するまでの時間を指定します。では使用できません</p> <p>retention。または `retention`どちらも指定しない場合、`expirationTime`スナップショットは期限切れになりません。</p> <p>時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れなりません。</p> <p>を指定 `null` すると、Snapshotが永続的に保持されます。</p> <p>値を設定 `fifo` すると、ボリューム上の他のFIFOスナップショットと比較して、スナップショットが先入れ先出し (FIFO) ベースで保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。</p>	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
name	グループ Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
retention	<p>このパラメータはパラメータと同じ `expirationTime`ですが、時刻の形式は HH : mm : ss です。またはの `retention`どちらも指定しない場合、`expirationTime`スナップショットは期限切れなりません。</p>	文字列	なし	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
snapMirrorLabel	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するため SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
volumes	コピー元のボリュームイメージの一意の ID。	volumeID の配列	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
メンバー	グループの各メンバーのチェックサム、ボリューム ID、Snapshot ID のリスト。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• checksum : 保存された Snapshot のデータを表す短い文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。文字列• snapshotID : 新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID 。 Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。整数• volumeID : Snapshot のソースボリュームの ID 整数	JSON オブジェクトの配列
groupSnapshotID	新しいグループ Snapshot の一意の ID。	グループ Snapshot ID
groupSnapshot	作成されたグループ Snapshot の情報を含むオブジェクト。	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
    "method": "CreateGroupSnapshot",  
    "params": {  
        "volumes": [1,2]  
    },  
    "id": 1  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
    "id": 1,  
    "result": {  
        "groupSnapshot": {  
            "attributes": {},  
            "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",  
            "groupSnapshotID": 45,  
            "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",  
            "members": [  
                {  
                    "attributes": {},  
                    "checksum": "0x0",  
                    "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",  
                    "enableRemoteReplication": false,  
                    "expirationReason": "None",  
                    "expirationTime": null,  
                    "groupID": 45,  
                    "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",  
                    "name": "2016-04-04T22:43:29Z",  
                    "snapshotID": 3323,  
                    "snapshotUUID": "7599f200-0092-4b41-b362-c431551937d1",  
                    "status": "done",  
                    "totalSize": 5000658944,  
                    "virtualVolumeID": null,  
                    "volumeID": 1  
                },  
                {  
                    "attributes": {},  
                    "checksum": "0x0",  
                    "createTime": "2016-04-04T22:43:29Z",  
                    "enableRemoteReplication": false,  
                    "expirationReason": "None",  
                    "volumeID": 1  
                }  
            ]  
        }  
    }  
}
```

```

    "expirationTime": null,
    "groupID": 45,
    "groupSnapshotUUID": "473b78a3-ef85-4541-9438-077306b2d3ca",
    "name": "2016-04-04T22:43:29Z",
    "snapshotID": 3324,
    "snapshotUUID": "a0776a48-4142-451f-84a6-5315dc37911b",
    "status": "done",
    "totalSize": 6001000448,
    "virtualVolumeID": null,
    "volumeID": 2
  },
],
"name": "2016-04-04T22:43:29Z",
"status": "done"
},
"groupSnapshotID": 45,
"members": [
{
  "checksum": "0x0",
  "snapshotID": 3323,
  "snapshotUUID": "7599f200-0092-4b41-b362-c431551937d1",
  "volumeID": 1
},
{
  "checksum": "0x0",
  "snapshotID": 3324,
  "snapshotUUID": "a0776a48-4142-451f-84a6-5315dc37911b",
  "volumeID": 2
}
]
}
}

```

新規導入バージョン

9.6

スケジュールの作成

を使用すると、ボリュームのSnapshotのスケジュールを設定して、指定した間隔でSnapshotを自動的に作成でき `CreateSchedule` ます。

作成した Snapshot をあとでバックアップまたはロールバックとして使用すると、Snapshot を作成した時点でのボリュームまたはボリュームグループのデータの整合性を確保できます。Snapshot のスケジュールを 5 分以外の間隔で設定した場合、Snapshot は 5 分単位に繰り上げた時間で実行されます。たとえば、12:42:00 UTC に実行するように Snapshot のスケジュールを設定すると、12:45:00 UTC に実行されま

す。Snapshot のスケジュールを 5 分未満の間隔で実行するように設定することはできません。



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
attributes	「frequency」文字列を使用して、スナップショットの頻度を指定します。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• Days of Week• Days of Month• Time Interval	JSON (オブジェクト)	なし	いいえ
hasError	* 必要な概要の助け *	ブーリアン	false	いいえ
hours	スナップショットが曜日または月の日モードで実行される GMT 時間で、スナップショットが繰り返し作成される時間数。有効な値は0~23です。	整数	なし	いいえ
lastRunStatus	最後にスケジュールされた Snapshot の作成結果またはステータス。	文字列	なし	いいえ
name	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
minutes	スナップショットが繰り返し作成されるまでの分数またはGMT時間で、スナップショットが曜日または月日モードで実行される時間（分単位）。有効な値は5~59です。	整数	なし	いいえ
paused	スケジュールを一時停止するかどうか。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	なし	いいえ
recurring	スケジュールを繰り返すかどうか。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	なし	いいえ
runNextInterval	スケジューラが次回アクティブになったときに Snapshot を実行するかどうかを指定します。true に設定すると、次にスケジューラがアクティブになったときにスケジュールされた Snapshot が作成され、false にリセットされます。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	false	いいえ
scheduleName	スケジュールの一意の名前。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	はい

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
scheduleType	作成するスケジュールのタイプ。有効な値は snapshot です。	文字列	なし	はい

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
scheduleInfo	<p>スケジュールに指定した一意の名前、作成された Snapshot の保持期間、Snapshot 作成元のボリュームのボリューム ID。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • volumeID : Snapshotに含めるボリュームのID。整数 • volumes : グループSnapshotに含めるボリュームIDのリスト。(整数の配列)。 • name : 使用するSnapshotの名前。文字列 • enableRemote Replication : Snapshotをリモートレプリケーションに含めるかどうかを指定します。布尔値 • retention : HH:mm:ss 形式のSnapshotが保持される時間。空の場合、Snapshotは無期限に保持されます。文字列 • fifo : スナップショットは先入れ先出し(FIFO)ベースで保持されます。文字列 • ensureSerial Creation : 以前のSnapshotレプリケーションが進行中の場合に、新しいSnapshotの作成を許可するかどうかを指定し 	JSON (オブジェクト)	なし	はい

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
snapMirrorLabel	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するため SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
startingDate	スケジュールを実行する時刻。設定しない場合、スケジュールはただちに開始されます。形式は UTC 時間形式です。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
toBeDeleted	Snapshot の作成が完了したあとに Snapshot スケジュールを削除します。	ブーリアン	false	いいえ
monthdays	Snapshot を作成する特定の日にち。有効な値は1~31です。	整数の配列	なし	○ (日にちでスケジュール設定する場合)

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
weekdays	<p>Snapshot を作成する曜日。必要な値は次のとおりです（使用する場合）。</p> <ul style="list-style-type: none"> Day : 0~6（日曜日～土曜日） Offset : 月の1~6の各週（1より大きい場合は、週のNth-1日にのみ一致します。たとえば、「offset : 3 for Sunday」は月の第3日曜日、「offset : 4 for Wednesday」は月の第4水曜日を意味します。offset : 0は、アクションが実行されないことを意味します。offset : 1（デフォルト）は、Snapshot が毎月のどこに配置されるかに関係なく、この曜日に作成されることを意味します。 	JSON オブジェクトの配列	なし	○（曜日でスケジュール設定する場合）

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
scheduleID です	作成されたスケジュールの ID。	整数
スケジュール	作成されたスケジュールの情報を含むオブジェクト。	スケジュール

要求例 1.

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- 可能なかぎり午前0時（00:00:00Z）近くにスケジュールが開始されるように、開始時間と分は指定しません。
- 繰り返し作成されません（一度だけ実行されます）。
- 2015年6月1日（UTC 19:17:15z）の次の最初の日曜日または水曜日（どちらか早い方）に1回実行されます。
- 1つのボリューム（ボリューム ID = 1）のみが含まれます。

```
{
  "method": "CreateSchedule",
  "params": {
    "hours": 0,
    "minutes": 0,
    "paused": false,
    "recurring": false,
    "scheduleName": "MCAsnapshot1",
    "scheduleType": "snapshot",
    "attributes": {
      "frequency": "Days Of Week"
    },
    "scheduleInfo": {
      "volumeID": "1",
      "name": "MCA1"
    },
    "monthdays": [],
    "weekdays": [
      {
        "day": 0,
        "offset": 1
      },
      {
        "day": 3,
        "offset": 1
      }
    ],
    "startingDate": "2015-06-01T19:17:54Z"
  },
  "id": 1
}
```

応答例 1

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```
{  
    "id": 1,  
    "result": {  
        "schedule": {  
            "attributes": {  
                "frequency": "Days Of Week"  
            },  
            "hasError": false,  
            "hours": 0,  
            "lastRunStatus": "Success",  
            "lastRunTimeStarted": null,  
            "minutes": 0,  
            "monthdays": [],  
            "paused": false,  
            "recurring": false,  
            "runNextInterval": false,  
            "scheduleID": 4,  
            "scheduleInfo": {  
                "name": "MCA1",  
                "volumeID": "1"  
            },  
            "scheduleName": "MCAsnapshot1",  
            "scheduleType": "Snapshot",  
            "startingDate": "2015-06-01T19:17:54Z",  
            "toBeDeleted": false,  
            "weekdays": [  
                {  
                    "day": 0,  
                    "offset": 1  
                },  
                {  
                    "day": 3,  
                    "offset": 1  
                }  
            ]  
        },  
        "scheduleID": 4  
    }  
}
```

要求例 2.

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- ・繰り返し作成されます（指定した日にちのスケジュールされた間隔で指定した時刻に実行されます）。
- ・開始日以降の毎月 1 日、 10 日、 15 日、 30 日に実行されます。
- ・スケジュールされた各日の午後12：15に実行されます。
- ・1 つのボリューム（ボリューム ID = 1）のみが含まれます。

```
{  
    "method": "CreateSchedule",  
    "params": {  
        "hours": 12,  
        "minutes": 15,  
        "paused": false,  
        "recurring": true,  
        "scheduleName": "MCASnapshot1",  
        "scheduleType": "snapshot",  
        "attributes": {  
            "frequency": "Days Of Month"  
        },  
        "scheduleInfo": {  
            "volumeID": "1"  
        },  
        "weekdays": [  
        ],  
        "monthdays": [  
            1,  
            10,  
            15,  
            30  
        ],  
        "startingDate": "2015-04-02T18:03:15Z"  
    },  
    "id": 1  
}
```

応答例 2

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Month"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 12,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 15,
      "monthdays": [
        1,
        10,
        15,
        30
      ],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 5,
      "scheduleInfo": {
        "volumeID": "1"
      },
      "scheduleName": "MCASnapshot1",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-04-02T18:03:15Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": []
    },
    "scheduleID": 5
  }
}

```

要求例 3.

次のパラメータを含むスケジュールの例を次に示します。

- 2015 年 4 月 2 日にスケジュールされた間隔で 5 分以内に開始されます。
- 繰り返し作成されます（指定した日にちのスケジュールされた間隔で指定した時刻に実行されます）。
- 開始日以降の毎月 2 日、3 日、4 日に実行されます。
- スケジュールされた各日にちの午後 14：45 に実行されます。
- ボリュームのグループが含まれています（ボリューム 1 および 2）。

```
{  
    "method": "CreateSchedule",  
    "params": {  
        "hours": 14,  
        "minutes": 45,  
        "paused": false,  
        "recurring": true,  
        "scheduleName": "MCASnapUser1",  
        "scheduleType": "snapshot",  
        "attributes": {  
            "frequency": "Days Of Month"  
        },  
        "scheduleInfo": {  
            "volumes": [1, 2]  
        },  
        "weekdays": [],  
        "monthdays": [2, 3, 4],  
        "startingDate": "2015-04-02T20:38:23Z"  
    },  
    "id": 1  
}
```

応答例 3

上記の要求に対する応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Month"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 14,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 45,
      "monthdays": [
        2,
        3,
        4
      ],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 6,
      "scheduleInfo": {
        "volumes": [
          1,
          2
        ]
      },
      "scheduleName": "MCASnapUser1",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": "2015-04-02T20:38:23Z",
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": []
    },
    "scheduleID": 6
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

CreateSnapshot の更新

を使用すると、ボリュームのポイントインタイムコピーを作成できます

CreateSnapshot。任意のボリュームまたは既存の Snapshot から Snapshot を作成できます。

この API メソッドで Snapshot ID を指定しない場合、ボリュームのアクティブなブランチから Snapshot が作成されます。Snapshot の作成元のボリュームがリモートクラスタにレプリケートされている場合は、Snapshot も同じターゲットにレプリケートできます。enableRemoteReplication パラメータを使用して、Snapshot 機能を使用したレプリケーションを有効にします。



Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
attributes	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON (オブジェクト)	なし	いいえ
enableRemoteReplication	Snapshot をリモートストレージにレプリケートするかどうかを指定します。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true : Snapshotがリモートストレージにレプリケートされます。• false : Snapshotはリモートストレージにレプリケートされません。	ブーリアン	正しくない	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
ensureSerialCreation	<p>以前の Snapshot レプリケーションが実行中の場合に Snapshot を作成しないように指定します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>true</code> : これにより、一度にレプリケートされるSnapshotが1つだけになります。以前の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合、新しい Snapshot の作成は失敗します。 • <code>false</code> : デフォルト。別の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合は、この Snapshot を作成できます。 	ブーリアン	<code>false</code>	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
有効期限	<p>Snapshot を削除するまでの時間を指定します。では使用できません</p> <p>retention。expirationTime または retention のどちらも指定しない場合、 Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れなりません。</p> <p>を指定 `null` すると、Snapshotが永続的に保持されます。値を設定 `fifo` すると、ボリューム上の他のFIFOスナップショットと比較して、先入れ先出し方式でスナップショットが保持されます。</p> <p>使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。</p>	文字列	なし	いいえ
name	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
retention	このパラメータはパラメータと同じ `expirationTime` ですが、時刻の形式は HH : mm : ss です。またはの `retention` どちらも指定しない場合、 `expirationTime` スナップショットは期限切れなりません。	文字列	なし	いいえ

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
snapMirrorLabel	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するため SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
snapshotID	新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID。Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。	整数	なし	いいえ
volumeID	コピー元のボリュームイメージの一意の ID。	整数	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
チェックサム	保存された Snapshot の正しい数字を表す文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。	文字列
Snapshot ID	新しい Snapshot の一意の ID。	Snapshot ID
Snapshot	作成された Snapshot の情報を含むオブジェクト。	Snapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
    "method": "CreateSnapshot",  
    "params": {  
        "volumeID": 1  
    },  
    "id": 1  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
    "id": 1,  
    "result": {  
        "checksum": "0x0",  
        "snapshot": {  
            "attributes": {},  
            "checksum": "0x0",  
            "createTime": "2016-04-04T17:14:03Z",  
            "enableRemoteReplication": false,  
            "expirationReason": "None",  
            "expirationTime": null,  
            "groupID": 0,  
            "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",  
            "name": "2016-04-04T17:14:03Z",  
            "snapshotID": 3110,  
            "snapshotUUID": "6f773939-c239-44ca-9415-1567eae79646",  
            "status": "done",  
            "totalSize": 5000658944,  
            "virtualVolumeID": null,  
            "volumeID": 1  
        },  
        "snapshotID": 3110  
    }  
}
```

例外

APIが呼び出されてスナップショットの作成に失敗すると、xNotPrimary例外が表示され`CreateSnapshot`ます。これは想定される動作です。API呼び出しを再試行し`CreateSnapshot`ます。

新規導入バージョン

9.6

DeleteGroupSnapshot

を使用すると、グループSnapshotを削除できます DeleteGroupSnapshot。

saveMembers パラメータを使用すると、グループ内のボリュームに対して作成された Snapshot は削除せずに、グループとの関連付けだけを削除できます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
groupSnapshotID	グループ Snapshot の一意の ID。	整数	なし	はい
セーブメンバー	グループ Snapshot を削除するときに削除する内容を指定します。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true : Snapshot は保持されますが、グループの関連付けは削除されます。• false : グループと Snapshot が削除されます。	ブーリアン	正しくない	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
  "method": "DeleteGroupSnapshot",  
  "params": {  
    "groupSnapshotID": 10,  
    "saveMembers" : true  
  },  
  "id": 1  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
  "id": 1,  
  "result": {}  
}
```

新規導入バージョン

9.6

Snapshot を削除します

メソッドを使用すると、Snapshotを削除できます DeleteSnapshot。

現在アクティブな Snapshot である Snapshot は削除できません。現在の Snapshot を削除するには、ロールバックして別の Snapshot をアクティブにする必要があります。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
Snapshot ID	削除する Snapshot の ID。	整数	なし	はい

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
OverrideSnapMirrorHold	レプリケーション時に Snapshot に対するロックを無効にします。このパラメータを使用すると、関連付けられている SnapMirror 関係の削除後に古い SnapMirror の Snapshot を削除できます。	ブーリアン	正しくない	いいえ

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "DeleteSnapshot",
  "params": {
    "snapshotID": 8,
    "overrideSnapMirrorHold": true
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

新規導入バージョン

9.6

詳細情報

[RollbackToSnapshot](#)

GetSchedule

を使用すると、スケジュールされたSnapshotに関する情報を取得できます
GetSchedule。

システムに多数の Snapshot スケジュールがある場合は、特定のスケジュールに関する情報を表示できます。
また、scheduleID パラメータに複数の ID を指定して、複数のスケジュールに関する情報を取得します。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
scheduleID です	表示するスケジュールの一意の ID。	整数	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
スケジュール	スケジュール属性の配列。	スケジュールアレイ

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "GetSchedule",
  "params": {
    "scheduleID" : 2
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
    "id": 1,  
    "result": {  
        "schedule": {  
            "attributes": {  
                "frequency": "Time Interval"  
            },  
            "hasError": false,  
            "hours": 0,  
            "lastRunStatus": "Success",  
            "lastRunTimeStarted": "2015-03-23T21:25:00Z",  
            "minutes": 2,  
            "monthdays": [],  
            "paused": false,  
            "recurring": true,  
            "runNextInterval": false,  
            "scheduleID": 2,  
            "scheduleInfo": {  
                "name": "MCA2",  
                "volumeID": "3"  
            },  
            "scheduleName": "MCAsnapshot2",  
            "scheduleType": "Snapshot",  
            "startingDate": "2015-03-23T19:28:57Z",  
            "toBeDeleted": false,  
            "weekdays": []  
        }  
    }  
}
```

新規導入バージョン

9.6

ListGroupSnapshots を参照してください

メソッドを使用すると、作成済みのすべてのグループSnapshotに関する情報を取得できます `ListGroupSnapshots`。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
groupSnapshotID	個々のグループ Snapshot ID の情報を取得します。	整数	なし	いいえ
ボリューム	照会する一意のボリューム ID の配列。このパラメータを指定しない場合、クラスタ上のすべてのグループ Snapshot が含まれます。	volumeID の配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
グループ Snapshot	各グループ Snapshot の情報を含むオブジェクトのリスト。	groupSnapshot アレイ

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListGroupSnapshots",
  "params": {
    "volumes": [
      31,
      49
    ],
    "id": 1
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "groupSnapshots": [
    {
      "volumeID": 31,
      "snapshotID": 1
    }
  ]
}
```

```

    "status": "Done",
    "remoteStatuses": [
        {
            "volumePairUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
            "remoteStatus": "Present"
        }
    ],
    "attributes": {},
    "groupSnapshotID": 1,
    "createTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
    "members": [
        {
            "snapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
            "expirationReason": "None",
            "virtualVolumeID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
            "groupID": 1,
            "createTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
            "totalSize": 1,
            "snapMirrorLabel": "test1",
            "volumeName": "test1",
            "instanceCreateTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
            "volumeID": 1,
            "checksum": "0x0",
            "attributes": {},
            "instanceSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
            "snapshotID": 1,
            "status": "Done",
            "groupSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
            "expirationTime": "2014-06-17T17:35:05Z",
            "enableRemoteReplication": true,
            "name": "test1",
            "remoteStatuses": [
                {
                    "volumePairUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123",
                    "remoteStatus": "Present"
                }
            ]
        }
    ],
    "enableRemoteReplication": true,
    "name": "test1",
    "groupSnapshotUUID": "abcdef-1234-5678-90ab-cdef0123"
}
]
}

```

新規導入バージョン

9.6

ListSchedules (リストスケジュール

を使用すると、作成済みのすべてのスケジュールされたSnapshotに関する情報を取得できます ListSchedules。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
スケジュール	現在クラスタにあるスケジュールのリスト。	スケジュールアレイ

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
  "method": "ListSchedules",  
  "params": {},  
  "id": 1  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
  "id": 1,  
  "result": {  
    "schedules": [  
      {  
        "attributes": {  
          "frequency": "Days Of Week"  
        },  
        "hasError": false,  
        "id": 1,  
        "label": "毎週",  
        "order": 1  
      }  
    ]  
  }  
}
```

```

"hours": 0,
"lastRunStatus": "Success",
"lastRunTimeStarted": null,
"minutes": 1,
"monthdays": [],
"paused": false,
"recurring": false,
"runNextInterval": false,
"scheduleID": 3,
"scheduleInfo": {
    "name": "Wednesday Schedule",
    "retention": "00:02:00",
    "volumeID": "2"
},
"scheduleName": "Vol2Schedule",
"scheduleType": "Snapshot",
"startingDate": "2015-03-23T20:08:33Z",
"toBeDeleted": false,
"weekdays": [
    {
        "day": 3,
        "offset": 1
    }
]
},
{
    "attributes": {
        "frequency": "Time Interval"
    },
    "hasError": false,
    "hours": 0,
    "lastRunStatus": "Success",
    "lastRunTimeStarted": "2015-03-23T21:40:00Z",
    "minutes": 2,
    "monthdays": [],
    "paused": false,
    "recurring": true,
    "runNextInterval": false,
    "scheduleID": 2,
    "scheduleInfo": {
        "name": "MCA2",
        "volumeID": "3"
    },
    "scheduleName": "MCAsnapshot2",
    "scheduleType": "Snapshot",
    "startingDate": "2015-03-23T19:28:57Z",
}

```

```

        "toBeDeleted": false,
        "weekdays": []
    }
]
}
}

```

新規導入バージョン

9.6

ListSnapshots を使用します

を使用すると、ボリュームで作成された各Snapshotの属性を取得できます
ListSnapshots。

このメソッドをソースクラスタから呼び出すと、ターゲットクラスタにある Snapshot の情報がソースクラスタに表示されます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
ボリュームID	ボリュームの Snapshot を取得します。ボリューム ID を指定しない場合、すべてのボリュームのすべての Snapshot が返されます。	整数	なし	いいえ
Snapshot ID	個々の Snapshot ID の情報を取得します。	整数	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
Snapshot	各ボリュームの各 Snapshot に関する情報。ボリューム ID を指定しない場合、すべてのボリュームのすべての Snapshot が返されます。グループに含まれる Snapshot には、グループ ID が返されます。	Snapshot アレイ

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListSnapshots",
  "params": {
    "volumeID": "1"
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "snapshots": [
      {
        "attributes": {},
        "checksum": "0x0",
        "createTime": "2015-05-08T13:15:00Z",
        "enableRemoteReplication": true,
        "expirationReason": "None",
        "expirationTime": "2015-05-08T21:15:00Z",
        "groupID": 0,
        "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
        "name": "Hourly",
        "remoteStatuses": [
          {
            "remoteStatus": "Present",
            "volumePairUUID": "237e1cf9-fb4a-49de-a089-a6a9a1f0361e"
          }
        ],
        "snapshotID": 572,
        "snapshotUUID": "efa98e40-cb36-4c20-a090-a36c48296c14",
        "status": "done",
        "totalSize": 10000269312,
        "volumeID": 1
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifyGroupSnapshot の追加

を使用すると、Snapshotグループの属性を変更できます `ModifyGroupSnapshot`。また、このメソッドを使用すると、読み取り / 書き込み（ソース）ボリュームで作成された Snapshot を、ターゲットストレージシステムにリモートでレプリケートできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
enableRemoteReplication	<p>作成した Snapshot をリモートクラスタにレプリケートできるようにします。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>true</code> : Snapshotがリモートストレージにレプリケートされます。 • <code>false</code> : Snapshotはリモートストレージにレプリケートされません。 	ブーリアン	正しくない	いいえ
有効期限	<p>Snapshot を削除するまでの時間を指定します。保持とともに使用することはできません。元の Snapshot の有効期限または保持期間がどちらも指定されていない場合、Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れなりません。を指定 `null` すると、Snapshotが永続的に保持されます。FIFO の値を設定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、FIFO (First-In First-Out) ベースでスナップショットが保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。</p>	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ

名前	グループ Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
groupSnapshotID	Snapshot のグループの ID。	文字列	なし	はい
snapMirrorLabel のことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するため SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
groupSnapshot	変更されたグループ Snapshot の情報 を含むオブジェクト。	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "id": 695,
  "method": "ModifyGroupSnapshot",
  "params": {
    "groupSnapshotID": 3,
    "enableRemoteReplication": true,
    "expirationTime": "2016-04-08T22:46:25Z"
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 695,
  "result": {
    "groupSnapshot": {
      "attributes": {},
      "createTime": "2016-04-06T17:31:41Z",
      "groupSnapshotID": 3,
      "groupSnapshotUUID": "8b2e101d-c5ab-4a72-9671-6f239de49171",
      "members": [
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-06T17:31:41Z",
          "enableRemoteReplication": true,
          "expirationReason": "None",
          "expirationTime": "2016-04-08T22:46:25Z",
          "groupID": 3,
          "groupSnapshotUUID": "8b2e101d-c5ab-4a72-9671-6f239de49171",
          "name": "grpsnap1-2",
          "snapshotID": 2,
          "snapshotUUID": "719b162c-e170-4d80-b4c7-1282ed88f4e1",
          "status": "done",
          "totalSize": 1000341504,
          "virtualVolumeID": null,
          "volumeID": 2
        }
      ],
      "name": "grpsnap1",
      "status": "done"
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifySchedule の追加

を使用すると、スケジュールされたSnapshotが作成される間隔を変更できます。`ModifySchedule`ます。スケジュールを削除または一時停止することもできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
属性	Snapshot の作成頻度。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• Days of Week• Days of Month• Time Interval	JSON (オブジェクト)	なし	いいえ
時間	Snapshot を作成する日数または時間数。この時間を経過すると、Days of Week モードまたは Days of Month モードになります。有効な値は0~24です。	文字列	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、グループ Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ
分	スナップショットが実行される間隔（分単位）。スナップショットは、曜日モードまたは日数モードで実行されます。有効な値は0~59です。	整数	なし	いいえ
lastRunStatus の順にクリックします	最後にスケジュールされた Snapshot の作成結果またはステータス。	文字列	なし	いいえ

一時停止中	スケジュールを一時停止するかどうか。 有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	なし	いいえ
繰り返し	スケジュールを繰り返すかどうか。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	なし	いいえ
RunNextInterval をクリックします	スケジューラが次回アクティブになったときに Snapshot を実行するかどうか。 有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true• false true に設定すると、次にスケジューラがアクティブになったときにスケジュールされた Snapshot が作成され、その後 false にリセットされます。	ブーリアン	正しくない	いいえ
scheduleID です	スケジュールの一意のID。	整数	なし	はい
スケジュール名	スケジュールの一意の名前。最大文字数は 244 文字です。	文字列	なし	いいえ
スケジューラの種類	作成するスケジュールのタイプ。サポートされる値はのみ `snapshot` です。	文字列	なし	はい

scheduleInfo	<p>スケジュールに指定した一意の名前、作成された Snapshot の保持期間、Snapshot 作成元のボリュームのボリューム ID。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • enableRemote Replication : Snapshotをリモートレプリケーションに含めるかどうかを指定します。布尔値 • ensureSerial Creation : 以前のSnapshotレプリケーションが進行中の場合に、新しいSnapshotの作成を許可するかどうかを指定します。布尔値 • name : 使用する Snapshot の名前。文字列 • retention : Snapshotが保持されている時間。時間に応じて、次のいずれかの形式で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ fifo : スナップショットは先入れ先出し (FIFO) ベースで保持されます。空の場合、Snapshot は無期限に保持されます。文字列 ◦ "HH : mm : ss" 	"スケジュール"	なし	いいえ
--------------	---	----------	----	-----

snapMirrorLabel のことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するため SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
To BeDeleted	スケジュールを削除対象としてマークするかどうか。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true• false	ブーリアン	なし	いいえ
開始日	スケジュールが最初に開始された日、または開始される日。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
月日	Snapshot を作成する特定の日にち。有効な値は1~31です。	整数の配列	なし	はい
平日	Snapshot を作成する曜日。曜日は日曜の「0」から始まり、オフセットは「1」です。	文字列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
スケジュール	変更されたスケジュール属性を含むオブジェクト。	スケジュール

要求例

```
{  
  "method": "ModifySchedule",  
  "params": {  
    "scheduleName" : "Chicago",  
    "scheduleID" : 3  
  },  
  "id": 1  
}
```

応答例

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "schedule": {
      "attributes": {
        "frequency": "Days Of Week"
      },
      "hasError": false,
      "hours": 5,
      "lastRunStatus": "Success",
      "lastRunTimeStarted": null,
      "minutes": 0,
      "monthdays": [],
      "paused": false,
      "recurring": true,
      "runNextInterval": false,
      "scheduleID": 3,
      "scheduleInfo": {
        "volumeID": "2"
      },
      "scheduleName": "Chicago",
      "scheduleType": "Snapshot",
      "startingDate": null,
      "toBeDeleted": false,
      "weekdays": [
        {
          "day": 2,
          "offset": 1
        }
      ]
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifySnapshot の追加

を使用すると、Snapshotに現在割り当てられている属性を変更できます ModifySnapshot。また、このメソッドを使用すると、読み取り / 書き込み（ソース）ボリュームで作成された Snapshot を、Element ソフトウェアを実行しているターゲットストレージクラスタにリモートでレプリケートできます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
enableRemoteReplication	<p>作成した Snapshot をリモートストレージクラスタにレプリケートできるようにします。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none">• <code>true</code> : Snapshotがリモートストレージにレプリケートされます。• <code>false</code> : Snapshotはリモートストレージにレプリケートされません。	ブーリアン	正しくない	いいえ

有効期限	Snapshot を削除するまでの時間を指定します。保持とともに使用することはできません。元の Snapshot の有効期限または保持期間がどちらも指定されていない場合、Snapshot は期限切れになりません。時刻の形式は、時間ベースの期限を表す ISO 8601 形式の日付文字列であり、それ以外の場合は期限切れなりません。値を null にすると、Snapshot が永続的に保持されます。FIFO の値を設定すると、ボリューム上の他の FIFO スナップショットと比較して、FIFO (First-In First-Out) ベースでスナップショットが保持されます。使用可能な FIFO 領域がない場合、API は失敗します。	ISO 8601 形式の日付文字列	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を入力しない場合、Snapshot の作成日時が使用されます。最大文字数は 255 文字です。	文字列	なし	いいえ
snapMirrorLabelのことです	SnapMirror エンドポイントでの Snapshot 保持ポリシーを指定するために SnapMirror ソフトウェアで使用されるラベル。	文字列	なし	いいえ
Snapshot ID	Snapshot の識別子。	文字列	なし	はい

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
Snapshot	変更された Snapshot の情報を含むオブジェクト。	Snapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ModifySnapshot",
  "params": {
    "snapshotID": 3114,
    "enableRemoteReplication": "true",
    "name" : "Chicago"
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "snapshot": {
      "attributes": {},
      "checksum": "0x0",
      "createTime": "2016-04-04T17:26:20Z",
      "enableRemoteReplication": true,
      "expirationReason": "None",
      "expirationTime": null,
      "groupID": 0,
      "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
      "name": "test1",
      "snapshotID": 3114,
      "snapshotUUID": "5809a671-4ad0-4a76-9bf6-01cccf1e65eb",
      "status": "done",
      "totalSize": 5000658944,
      "virtualVolumeID": null,
      "volumeID": 1
    }
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

RollbackToGroupSnapshot

を使用すると、Snapshotグループ内のすべてのボリュームを、各ボリュームの個々のSnapshotにロールバックできます `RollbackToGroupSnapshot`。

グループ Snapshot にロールバックすると、グループ Snapshot 内に各ボリュームの一時 Snapshot が作成されます。

- Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。クラスタフルが「ステージ 4」または「ステージ 5」の場合、Snapshot は作成されません。
- スライスの同期の実行中にグループSnapshotへのボリュームのロールバックが失敗することがあります。同期が完了してから再試行して `RollbackToGroupSnapshot` ください。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
groupSnapshotID	グループ Snapshot の一意の ID。	整数	なし	はい
attributes	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON (オブジェクト)	なし	いいえ
name	がtrueに設定されている場合に作成される、ボリュームの現在の状態のグループSnapshotの名前 saveCurrentState。名前を指定しない場合、 Snapshot (グループおよび個々のボリューム) の名前には、ロールバックが発生した時間のタイムスタンプが設定されます。	文字列	なし	いいえ
saveCurrentState	以前のアクティブボリュームイメージを保存するかどうかを指定します。有効な値： <ul style="list-style-type: none">• true : 以前のアクティブボリュームイメージは保持されます。• false : 以前のアクティブボリュームイメージが削除されます。	ブーリアン	正しくない	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ

メンバー	<p>グループ Snapshot のメンバーのボリューム ID と Snapshot ID を含む配列。値</p> <ul style="list-style-type: none"> checksum : 保存された Snapshot のデータを表す短い文字列。このチェックサムを使用して、あとで他の Snapshot と比較してデータ内のエラーを検出できます。文字列 snapshotID : 新しい Snapshot の作成元 Snapshot の一意の ID。Snapshot ID は、指定したボリュームの Snapshot の ID である必要があります。整数 volumeID : Snapshot のソースボリュームの ID 整数 	JSON オブジェクトの配列
groupSnapshotID	<p>がfalseに設定されている場合 saveCurrentState、この値はnullになります。</p> <p>がtrueに設定されている場合、`saveCurrentState`新しく作成されるグループSnapshotの一意のID。</p>	整数
groupSnapshot	<p>がfalseに設定されている場合 saveCurrentState、この値はnullになります。</p> <p>がtrueに設定されている場合、`saveCurrentState`にロールバックしたグループSnapshotの情報`RollbackToGroupSnapshot`。</p>	groupSnapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
  "id": 438,  
  "method": "RollbackToGroupSnapshot",  
  "params": {  
    "groupSnapshotID": 1,  
    "name": "grpsnap1",  
    "saveCurrentState": true  
  }  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 438,
  "result": {
    "groupSnapshot": {
      "attributes": {},
      "createTime": "2016-04-06T17:27:17Z",
      "groupSnapshotID": 1,
      "groupSnapshotUUID": "468fe181-0002-4b1d-ae7f-8b2a5c171eee",
      "members": [
        {
          "attributes": {},
          "checksum": "0x0",
          "createTime": "2016-04-06T17:27:17Z",
          "enableRemoteReplication": false,
          "expirationReason": "None",
          "expirationTime": null,
          "groupID": 1,
          "groupSnapshotUUID": "468fe181-0002-4b1d-ae7f-8b2a5c171eee",
          "name": "2016-04-06T17:27:17Z",
          "snapshotID": 4,
          "snapshotUUID": "03563c5e-51c4-4e3b-a256-a4d0e6b7959d",
          "status": "done",
          "totalSize": 1000341504,
          "virtualVolumeID": null,
          "volumeID": 2
        }
      ],
      "name": "2016-04-06T17:27:17Z",
      "status": "done"
    },
    "groupSnapshotID": 3,
    "members": [
      {
        "checksum": "0x0",
        "snapshotID": 2,
        "snapshotUUID": "719b162c-e170-4d80-b4c7-1282ed88f4e1",
        "volumeID": 2
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

RollbackToSnapshot

メソッドを使用すると、アクティブボリュームイメージの既存のSnapshotを作成できます RollbackToSnapshot。このメソッドは、既存の Snapshot から新しい Snapshot を作成します。

新しい Snapshot がアクティブになり、既存の Snapshot は手動で削除するまで保持されます。saveCurrentState パラメータを true に設定しないかぎり、以前にアクティブだった Snapshot は削除されます。

- cluster_Full*

-  • Snapshot を作成できるのは、クラスタフルが「ステージ 1」、「ステージ 2」、または「ステージ 3」の場合です。ステージが 4 または 5 に達すると、Snapshot を作成できなくなります。
- スライスの同期中にボリュームをSnapshotにロールバックすると失敗することがあります。同期が完了してから再試行して `RollbackToSnapshot` ください。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
ボリュームID	ボリュームの ID。	整数	なし	はい
属性	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON属性	なし	いいえ
名前	Snapshot の名前。名前を指定しない場合、ロールバックされる Snapshot の名前の末尾に「- copy」が追加されます。	文字列	なし	いいえ
Snapshot ID	指定したボリュームで以前に作成された Snapshot の ID。	整数	なし	はい

名前	製品説明	タイプ	デフォルト値	必須
saveCurrentState	<p>以前のアクティブボリュームイメージを保存するかどうかを指定します。有効な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • true : 以前のアクティブボリュームイメージは保持されます。 • false : 以前のアクティブボリュームイメージは削除されます。 	ブーリアン	正しくない	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	製品説明	タイプ
チェックサム	格納された Snapshot のデータを表す短い文字列。	文字列
Snapshot ID	<p>saveCurrentState が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>saveCurrentState が true に設定された場合、新しく作成された Snapshot の一意の ID。</p>	整数
Snapshot	<p>saveCurrentState が false に設定されている場合、この値は null です。</p> <p>saveCurrentState が true に設定されている場合、新しく作成された Snapshot に関する情報を含むオブジェクト。</p>	Snapshot

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{  
  "method": "RollbackToSnapshot",  
  "params": {  
    "volumeID": 1,  
    "snapshotID": 3114,  
    "saveCurrentState": true  
  },  
  "id": 1  
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{  
  "id": 1,  
  "result": {  
    "checksum": "0x0",  
    "snapshot": {  
      "attributes": {},  
      "checksum": "0x0",  
      "createTime": "2016-04-04T17:27:32Z",  
      "enableRemoteReplication": false,  
      "expirationReason": "None",  
      "expirationTime": null,  
      "groupID": 0,  
      "groupSnapshotUUID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",  
      "name": "test1-copy",  
      "snapshotID": 1,  
      "snapshotUUID": "30d7e3fe-0570-4d94-a8d5-3cc8097a6bfb",  
      "status": "done",  
      "totalSize": 5000658944,  
      "virtualVolumeID": null,  
      "volumeID": 1  
    },  
    "snapshotID": 1  
  }  
}
```

新規導入バージョン

9.6

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。